

# NSG

GROUP



# NSG グループ

## 2019年3月期第3四半期決算報告

(2018年4月1日～ 2018年12月31日)

日本板硝子株式会社  
2019年1月31日

## 諸岡 賢一

代表執行役副社長兼CFO

## クレメンス・ミラー

代表執行役副社長兼COO

## イアン・スミス

執行役員 グループファイナンス担当ディレクター

1. 2019年3月期第3四半期 決算概要
2. 2019年3月期第3四半期 事業状況
3. 2019年3月期 通期業績予想の見直し
4. まとめ

# 2019年3月期第3四半期 決算ハイライト



売上高	<b>4,595億円</b> (前期比 +3%)	Q3に入り欧州自動車用ガラス市場が急減速したものの、総じて安定的に推移した市場環境を反映
無形資産償却前 営業利益	<b>272億円</b> (前期比 △1%)	エネルギー関連コスト上昇や南米の通貨安等の影響を受け利益は前期並み
税引前利益	<b>171億円</b> (前期比 +22%)	金融費用（純額）削減およびQ2に計上したセブラセ社の売上税返還による持分法投資損益改善等により増益
法人所得税	<b>△57億円</b>	前期(△144億円)は米国税制改正に伴う一過性所得税計上を含む
親会社所有者に 帰属する当期利益	<b>105億円</b>	前期比大幅改善
フリー・キャッシュ・フロー	<b>△183億円</b>	運転資本増加等の影響を受けるも年度末に向けて改善見込み

**Q3の欧州自動車市場の減速を除けば市場環境は安定**

# 連結損益計算書

(億円)	<u>2018年3月期</u> <u>4月-12月期</u> *1	<u>2019年3月期</u> <u>4月-12月期</u>
売上高	4,453	4,595
無形資産償却前営業利益	275	272
償却費 *2	(15)	(15)
営業利益	260	257
個別開示項目	(25)	(33)
金融費用（純額）	(112)	(102)
持分法による投資損益	17	49
税引前利益	140	171
当期利益（損失）	(4)	114
親会社の所有者に帰属する当期利益（損失）	(17)	105
EBITDA	468	467

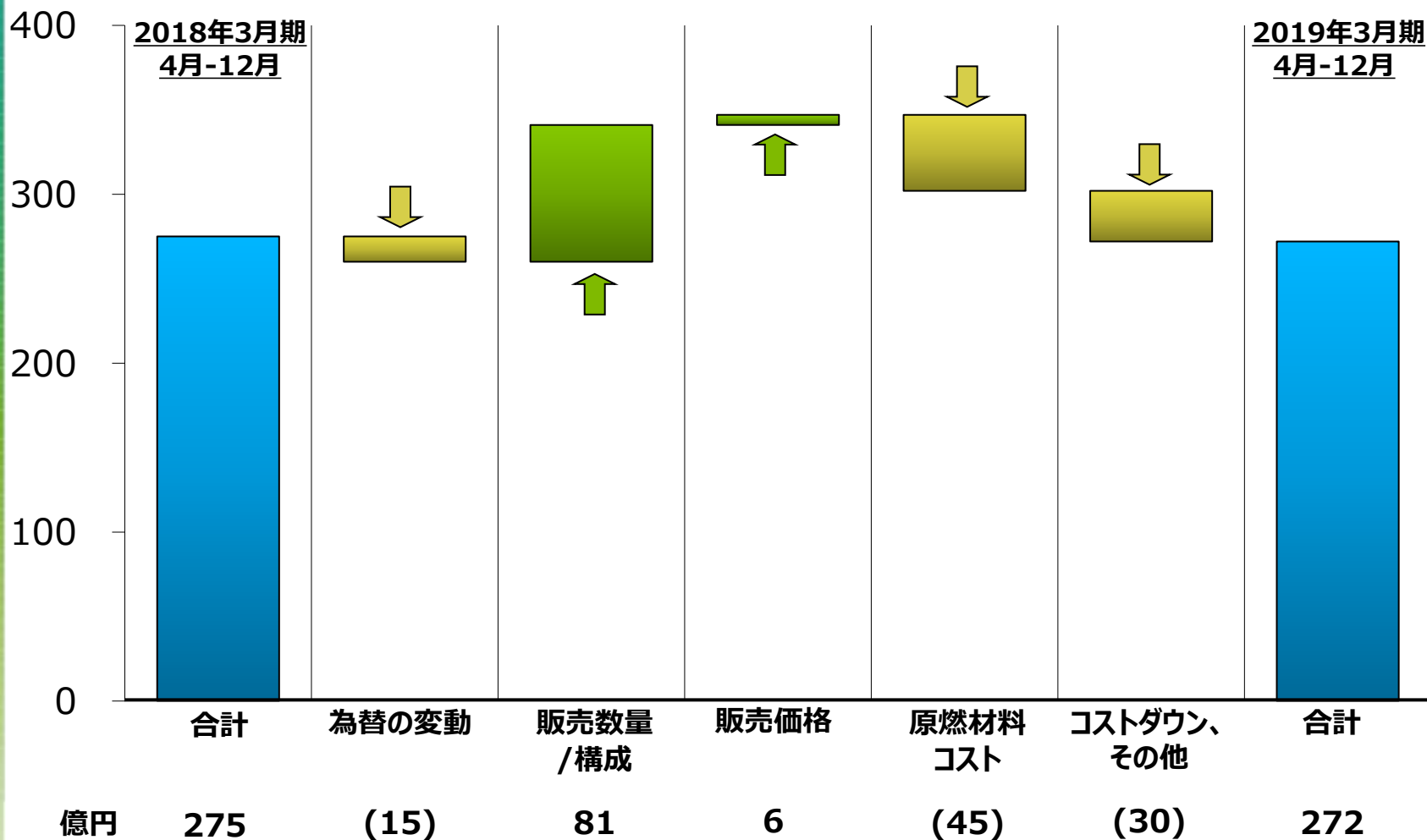
\*1：IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、修正再表示を行っております。

\*2：ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

**当期利益が前期比大幅に増加**

# 営業利益差異分析

(無形資産償却前)



エネルギー関連コスト増の影響を受けるも、数量/構成が改善

# 主要財務指標 (KPI)

	<u>2017年12月末</u> <sup>*1</sup>	<u>2018年12月末</u>	<u>2018年3月末</u> <sup>*1</sup>
ネット借入 (億円)	3,348	3,368	3,065
ネット借入/EBITDA	5.2x	5.3x	4.8x
ネット借入/純資産比率	2.3x	2.6x	2.1x
自己資本比率	17.4%	15.9%	17.1%
	<u>2018年3月期</u> <u>4月-12月期</u> <sup>*1</sup>	<u>2019年3月期</u> <u>4月-12月期</u>	<u>2018年3月期</u> <sup>*1</sup>
営業利益率 <sup>*2</sup>	6.2%	5.9%	6.3%

\*1: IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、修正再表示を行っております。

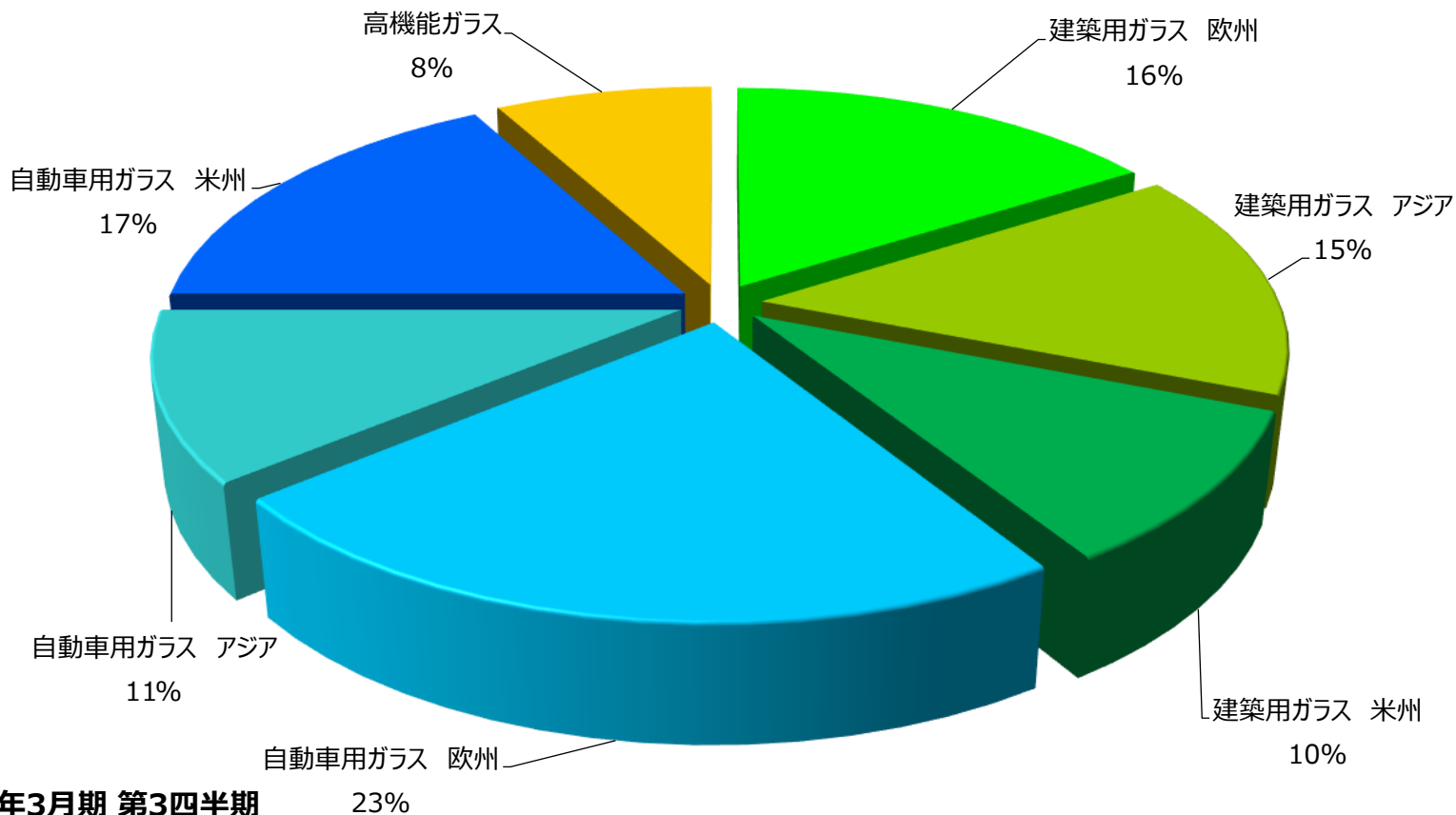
\*2: 無形資産償却前営業利益

**年度末に向けてネット借入は改善する見込み**



# 事業別売上高

4,595億円

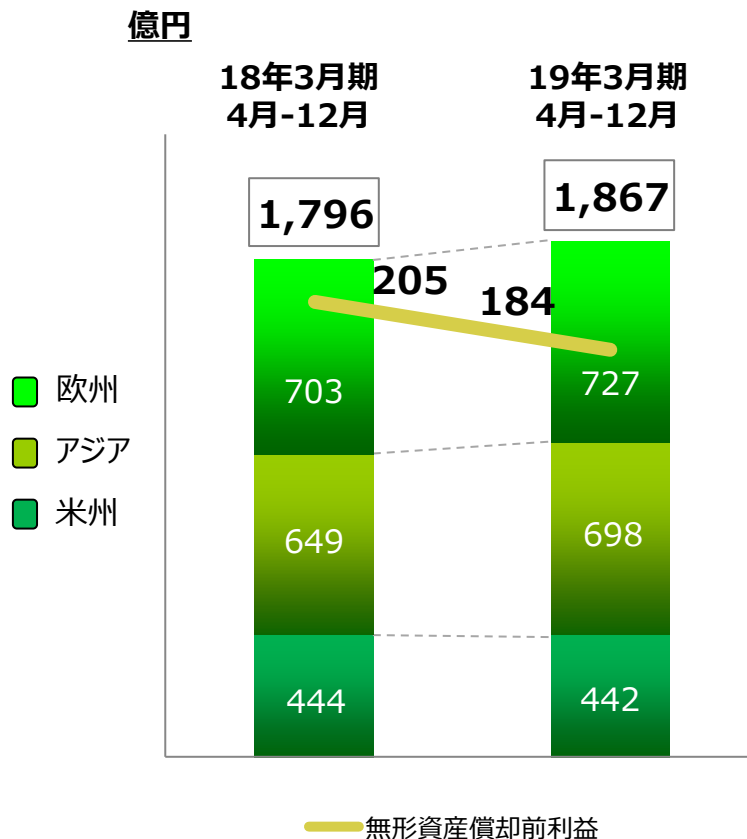


2019年3月期 第3四半期  
(2018年4月-2018年12月)

グローバルに事業展開

# 建築用ガラス事業

## 2018年3月期第3四半期との比較



### 欧州（増収・減益）

- 上期に定修コストや投入コスト増加の影響を受けるも、Q3は堅調に推移

### アジア（増収・減益）

- 日本は出荷増により収益改善
- 東南アジアではソーラー用ガラスの伸長の一方で競争激化により減益

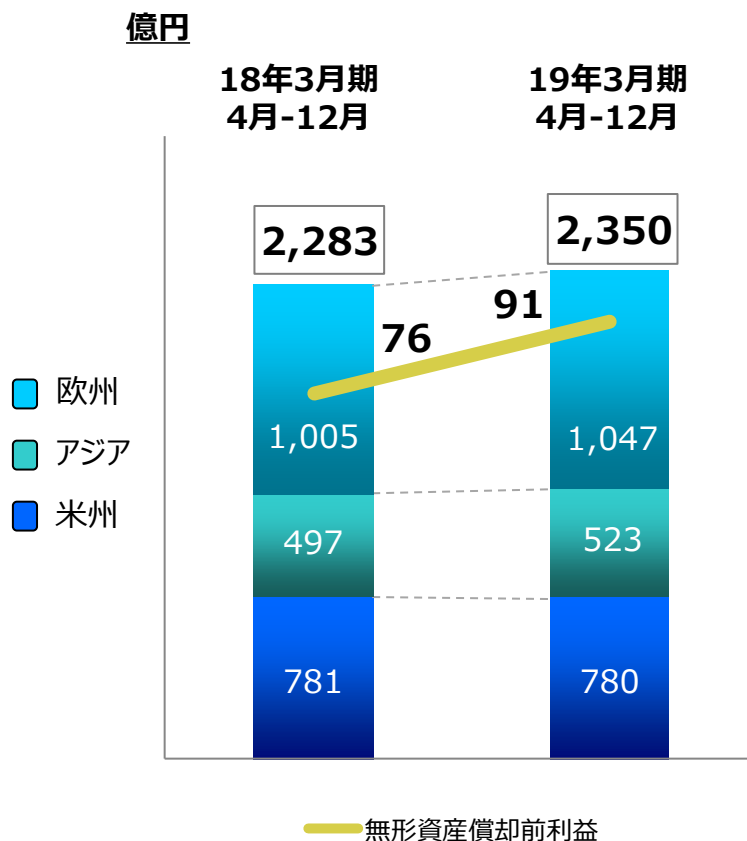
### 米州（横這い・減益）

- 北米は好調な需要とオタワ工場再稼働の効果で増収だが、製造コストが増加
- 南米の市場は好調だが、超インフレ会計の影響を受け、円ベースでは減収減益

投入コスト増やアルゼンチンにおける超インフレ会計の影響を受け減益

# 自動車用ガラス事業

## 2018年3月期第3四半期との比較



### 欧州（増収・増益）

- Q3に入って新車市場が急減速するも通期では売上、利益とも大幅改善

### アジア（増収・増益）

- 日本は上期に自然災害影響を受けるも、下期は出荷、生産ともに安定的に推移
- 補修用ガラス（AGR）は数量増により各地域で増益

### 米州（横這い・増益）

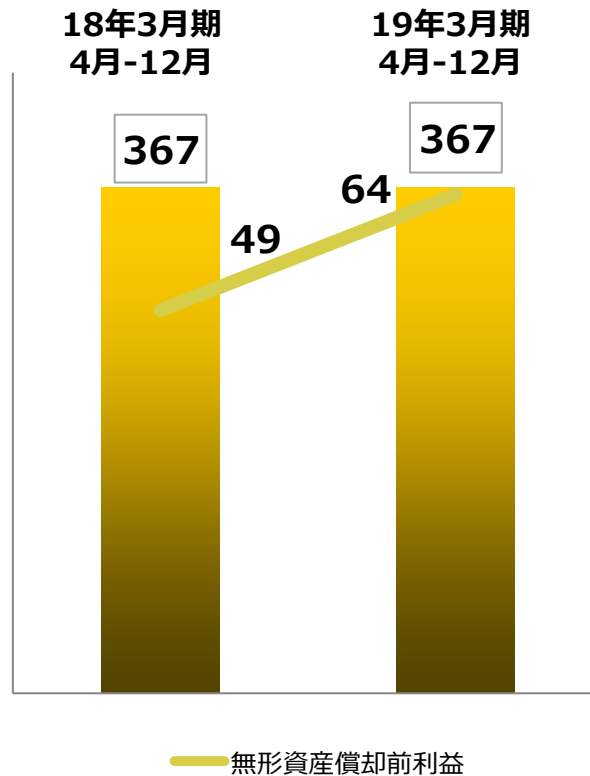
- 北米は堅調な市況で新車用売上安定。補修用ガラス（AGR）は改善
- 南米は為替影響を受けるも、ブラジルにおける数量は回復

Q3に欧州の新車市場が急減速するも、通期ではほぼ全地域で増収増益

# 高機能ガラス事業

## 2018年3月期第3四半期との比較

億円



### 高機能ガラス事業（横這い・増益）

- ディ스플레이は売上増とコスト改善により損益改善
- プリンター用レンズの需要は底堅く推移
- グラスコードの需要は軟化
- メタシャイン®は自動車用塗料、化粧品向けの販売が増加
- バッテリーセパレーターの需要は、日本では堅調に推移する一方、アジアでは軟化の兆し

ディスプレイ分野を中心に利益改善が継続

# 2019年3月期 通期業績予想の見直し

(億円)	2018年 3月期 通期実績 *1	2019年 3月期 通期業績 予想 (当初)	2019年 3月期 通期業績 予想 (最新)	差異
売上高	5,989	6,300	6,200	(100)
無形資産償却前営業利益	377	430	390	(40)
償却費 *2	(20)	(20)	(20)	
営業利益	357	410	370	(40)
個別開示項目	(13)	(70)	(60)	10
金融費用 (純額)	(146)	(130)	(130)	
持分法による投資損益	24	30	60	30
税引前利益	222	240	240	
当期利益	79	160	160	
親会社の所有者に帰属する当期利益	62	140	140	

最新見直しを反映

当初予想から変更なし

\*1：IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、修正再表示を行っております。




\*2：ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

**営業利益は急激な市場変化を反映、最終利益は当初予想から変更なし**

# 2019年3月期 通期業績予想の見直し

営業利益\*の修正 <430億円 → 390億円 (△40億円)>

- 前年比では増益を維持（前年度通期： 377億円）
- 欧州自動車市場環境の急激な変化、南米通貨安、エネルギー関連コスト上昇を反映
- 第4四半期業績予想想定

建築用 ガラス	英国・東南アジアで市況低迷あるも全般には安定した環境継続を想定	
	欧州・アジアを中心に燃料費の増加、南米の超インフレ会計影響が継続	
自動車用 ガラス	Q3の欧州新車市場でのWLTP導入、輸出減の影響を受ける。補修用ガラスの事業は好調	
	VA化・効率化は継続進展	
高機能 ガラス	ディスプレイ事業のリストラ効果 各事業の堅調な推移	

\* 無形資産償却前営業利益

## 第3四半期決算

- 売上は、Q3に入り急減速した欧州自動車用ガラス市場を除き、安定的に推移した市場環境を反映し増収
- 営業利益は、エネルギー関連コスト上昇や南米の通貨安等により前期並み
- 当期利益は大幅改善

## 通期業績予想

- 欧州自動車ガラス市場の急激な変化はあるものの、他の事業・地域は比較的安定的な市場環境が継続
- 通期の売上、営業利益予想を修正するが、当期利益予想は変更せず、営業利益、当期利益とも増益を維持
- 営業利益6期連続増益の達成に向け、VA化、効率改善、コストダウンを継続実施

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境及び競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市況、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

日本板硝子株式会社



# 補足資料

- 決算補足資料
  - 事業部門別・地域別売上高
  - 事業部門別・地域別償却前営業利益
  - 連結貸借対照表
  - 連結キャッシュ・フロー
  - 個別開示項目
  - 為替レート
  - アルゼンチンにおける超インフレ会計

# 事業部門別・地域別売上高

2018年3月期第3四半期との比較

<u>(億円)</u>	<u>2018年3月期</u> <u>4月-12月期</u> *	<u>2019年3月期</u> <u>4月-12月期</u>	<u>増減</u>
<b>建築用ガラス</b>	<b>1,796</b>	<b>1,867</b>	<b>71</b>
欧州	703	727	24
アジア	649	698	49
米州	444	442	(2)
<b>自動車用ガラス</b>	<b>2,283</b>	<b>2,350</b>	<b>67</b>
欧州	1,005	1,047	42
アジア	497	523	26
米州	781	780	(1)
<b>高機能ガラス</b>	<b>367</b>	<b>367</b>	<b>0</b>
欧州	56	58	2
アジア	301	297	(4)
米州	10	12	2
<b>その他</b>	<b>7</b>	<b>11</b>	<b>4</b>
<b>合計</b>	<b>4,453</b>	<b>4,595</b>	<b>142</b>

\*: IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、修正再表示を行っております。

IFRS第15号適用前：4,494億円（調整額：△41億円）

# 事業部門別・地域別償却前営業利益 <sup>\*1</sup>

## 2018年3月期第3四半期との比較

<u>(億円)</u>	<u>2018年3月期</u> <u>4月-12月期</u> <sup>*2</sup>	<u>2019年3月期</u> <u>4月-12月期</u>	<u>増減</u>
<b>事業別</b>			
建築用ガラス	205	184	(21)
自動車用ガラス	76	91	15
高機能ガラス	49	64	15
その他	(55)	(67)	(12)
合計	275	272	(3)
<b>地域別</b>			
欧州	124	125	1
アジア	128	144	16
米州	78	70	(8)
その他	(55)	(67)	(12)
合計	275	272	(3)

\*1: 無形資産償却前営業利益

\*2: IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、修正再表示を行っております。

IFRS第15号適用前：274億円（調整額：+1億円）

# 連結貸借対照表

(億円)	2018年3月末 <sup>*</sup>	2018年12月末	増減
<b>資産</b>	<b>7,886</b>	<b>7,521</b>	<b>(365)</b>
<b>非流動資産</b>	<b>5,308</b>	<b>5,202</b>	<b>(106)</b>
のれん・無形資産	1,697	1,632	(65)
有形固定資産	2,441	2,403	(38)
その他	1,170	1,167	(3)
<b>流動資産</b>	<b>2,578</b>	<b>2,319</b>	<b>(259)</b>
現金及び現金同等物	648	409	(239)
その他	1,930	1,910	(20)
<b>負債</b>	<b>6,449</b>	<b>6,235</b>	<b>(214)</b>
<b>流動負債</b>	<b>2,550</b>	<b>1,797</b>	<b>(753)</b>
金融負債	976	473	(503)
その他	1,574	1,324	(250)
<b>非流動負債</b>	<b>3,899</b>	<b>4,438</b>	<b>539</b>
金融負債	2,751	3,331	580
その他	1,148	1,107	(41)
<b>資本</b>	<b>1,437</b>	<b>1,286</b>	<b>(151)</b>
親会社の所有に帰属する持分	1,352	1,199	(153)
非支配持分	85	87	2
<b>負債及び資本</b>	<b>7,886</b>	<b>7,521</b>	<b>(365)</b>

\*: IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、修正再表示を行っております。

[資産] IFRS第15号適用前: 7,919億円 (調整額: △33億円)

[資本] IFRS第15号適用前: 1,428億円 (調整額: +9億円)

# 連結キャッシュ・フロー

(億円)	<u>2018年3月期</u> <u>4月-12月期*</u>	<u>2019年3月期</u> <u>4月-12月期</u>
当期利益/(損失)	(4)	114
米国連邦法人税率の変更に伴う調整額	96	-
減価償却費	221	210
減損損失(戻入)	5	1
有形固定資産等売却益	(38)	-
事業閉鎖による為替差益	-	(7)
持分法による投資利益	(17)	(49)
法人所得税支払額	(46)	(44)
その他	(28)	(11)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー (運転資本の増減考慮前)</b>	<b>189</b>	<b>214</b>
運転資本の増加	(141)	(186)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>48</b>	<b>28</b>
有形固定資産の取得	(216)	(193)
資産売却収入	74	3
その他	(11)	(21)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>(153)</b>	<b>(211)</b>
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>(105)</b>	<b>(183)</b>

\*: IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、修正再表示を行っております。

(フリー・キャッシュ・フローには影響はありません)

# 個別開示項目

(億円)	<u>2018年3月期</u> <u>4月-12月期</u>	<u>2019年3月期</u> <u>4月-12月期</u>
有形固定資産等の減損損失戻入益	-	<b>27</b>
事業閉鎖による為替差益	-	<b>7</b>
有形固定資産等の売却益	21	-
ジョイント・ベンチャーに対する投資の売却益	15	-
保険金の受取による利益	10	-
有形固定資産等の減損損失	(5)	<b>(28)</b>
リストラクチャリング費用	(33)	<b>(20)</b>
退職給付債務－過去勤務費用	-	<b>(14)</b>
設備休止に係る費用	(37)	<b>(4)</b>
その他	4	<b>(1)</b>
	<b>(25)</b>	<b>(33)</b>

# 為替レート

	<u>2018年3月期</u> <u>4月-12月</u>	<u>2018年3月期</u>	<u>2019年3月期</u> <u>4月-12月期</u>
期中平均為替レート：			
円/英ポンド	146	147	146
円/米ドル	111	111	111
円/ユーロ	128	130	129
円/ブラジル・リアル	34.8	34.4	29.3
円/アルゼンチン・ペソ	6.65	6.30	-
期末為替レート：			
円/英ポンド	152	150	141
円/米ドル	113	106	111
円/ユーロ	136	132	127
円/ブラジル・リアル	33.9	32.1	28.5
円/アルゼンチン・ペソ	6.03	5.30	2.93

# アルゼンチンにおける超インフレ会計

2019年3月期第2四半期より、IAS第29号に定められる要件に基づき、アルゼンチンの子会社の財務諸表に対して実施した超インフレ会計の主な手続き

- 有形固定資産とそれに係る繰延税金の残高について、資産取得日を基準にしたインフレ係数を適用して修正
- 損益計算書及びキャッシュ・フロー計算書について、2018年4月1日からインフレ係数を適用して修正
- 貨幣性項目については、インフレによる価値減少（機会損失費用）を金融費用として計上
- 損益計算書及びキャッシュ・フロー計算書の連結に際し、期末日レートを用いて日本円に換算

超インフレ会計の適用による連結財務諸表への影響（2019年3月期第3四半期、単位：億円）

## 連結損益計算書

売上高	(8)
営業利益	(4)
税引後利益	(15)
非支配者持分に帰属する利益	(6)
親会社の所有者に帰属する利益	(9)

## 連結貸借対照表

有形固定資産	38
繰延税金負債	(8)
親会社の所有者に帰属する持分	17
非支配持分	13
資本合計	30



# NSG

GROUP

